

10月11日（金） 国体入賞表彰式

国体のカヌー競技で入賞した及川君の表彰式を行いました。また、その獲得した得点等により茨城県が東京を破り総合優勝したことを伝えました。

さらに、国体のために鹿嶋市や神栖市にカウントダウンボードを作成してくれた生徒達、鹿嶋市のサッカー、神栖市のテニス、カヌー競技において「運営」、「放送」、「式典」等でお手伝いをしてくれた多くの生徒たちに感謝を伝えました。



いきいき茨城ゆめ国体2019 第74回国民体育大会
カヌー競技 カヌースプリント 少年男子カヤックペア
500m 第6位 200m 第7位
茨城県立波崎高等学校 2年電気科 及川 光祐

10月8日（火） 新聞掲載

（10月4～7日の国体アナウンス）

10月4日～7日の神栖市で開催された国体カヌー競技で本校生が清真学園高校や神栖高校の生徒とともに会場アナウンスを行い、競技進行をサポートしました。

聞き手考え伝える

カヌー競技 高校生がアナウンス

神栖市神栖町の神栖川で行われていた茨城国体のカヌー・スプリント競技で6日、地元の高校生が会場アナウンスを務め、競技進行をサポートした。

競技は4～7日の日程。初日の4日は盛大なため中止。各日交代でアナウンスを務めるたのは県立神栖高の運動部、県立波崎高の硬式野球部マ

アナウンスで競技進行をサポートした清真学園の才賀剛志さん（左）と福川穂子花さん（右）が神栖市神栖町で。

ネジャー、私立清真学園高の放送委員会の生徒計9人。陣市の鹿嶋市のコミュニティFM局「エフエムかしま市放送」（FMかしま）のアナウンサーの指導を受け、6月から本書に向けて練習に励んでいた。200名ほどの予選が行われた6日は、清真学園高2年の才賀剛志さん16と福川穂子花さん17が担当。レース前の選手紹介など落ち着いたアナウンスを展開し、本県選手が登場すると、「地元茨城県の選手です。会場の皆さんの温かい声援をお願いします」と後押しする声も響かせた。

終了後、才賀さんは「緊張もあったが、練習の成果を発揮できた」と満足げ。福川さんは「聞き手のことを考え、伝わりやすいアナウンスを心掛けた」と話し、2人は一足年ぶりの地元国体で貴重な経験ができた。この経験を今後に生かしたい」と口をそろえた。

（関口弥加）



茨城新聞 2019年10月8日